

ここだけの話！ 100人に聞きました！ 「失敗しないためのリフォーム情報サイト」で 新たにアンケート結果を公開！

～夫婦一緒はどこまで？「下着は一緒に洗う」98%、「寝室一緒」53%～

株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニーでは(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)は、2015年4月より「失敗しないためのリフォーム情報サイト」を公開しています。今回、全国100名を対象に、新たに『夫婦一緒の範囲』に関する各種調査を行い、当社サイトにて情報を公開しました。その調査結果についてご報告します。

I. 調査結果の概要

◇夫婦一緒に食事をとっていますか？

→「一緒に食事をとっている」68%、「別々に食事をとることが多いが、できるだけ一緒にとりたい」22%、「別々に食事をとっている」10%。

◇夫婦の寝室は共有派？別々派？

→「一緒がいい」53%、「寝室は別々」28%、「できれば別々にしたい」19%。

◇妻は結婚後、夫の下着と自分の下着を一緒に洗うのか！？

→「一緒に洗う」98%、「別々に洗う」2%。

◇夫婦で協力して家事を行っていますか？

→「妻が(ほとんど)家事をおこなっている」44%、「協力して家事をおこなっている」42%、「手の空いている方がやるようにしている」10%、「夫が(ほとんど)家事をおこなっている」4%

上記の他、各調査結果をまとめて「失敗しないためのリフォーム情報サイト」にて情報公開しています。
(<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>)是非ご覧ください。

アイフルホームリフォームサイトで実施している「失敗しないためのリフォーム情報サイト」にて「ここだけの話！100人に聞きました！アンケート」で新たなアンケート調査結果がまとまりました。

今回は、「夫婦一緒」はどこまでか？「食事」「寝室」「洗濯」「家事分担」について調査を実施し、アンケート結果を公開しました。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

失敗しないためのリフォーム情報サイト:<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>

調査内容

■夫婦一緒に食事をとっていますか？

一つ屋根の下で暮らす家族は大変身近な存在です。ただ漠然と暮らすだけでなく、悩みを共有したりする関係でありたいものです。そのためにも、一緒に食卓を囲むことは大切です。そこで、夫婦一緒に食事をしているかどうか、男女 100 人を対象に調査を実施しました。

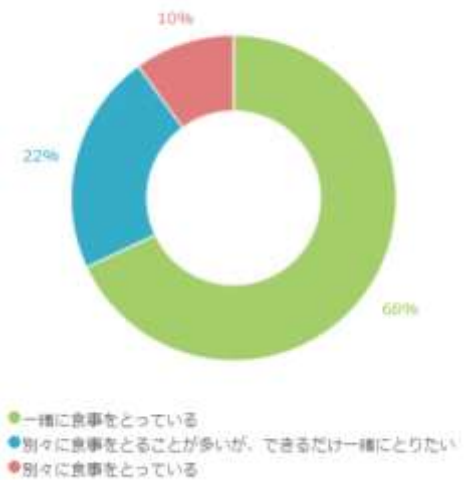
●夫婦一緒に食事をする人が 7 割近く！

二人で使える広いダイニングを！

アンケートの結果、「一緒に食事をとっている」と答えた人が 68% でした。回答者には、料理から後片付けまで二人で協力している人が多く見受けられました。ただ一緒に食卓を囲むのではなく、家事に積極的な男性が多いようです。

続いて、「別々に食事をとることが多いが、できるだけ一緒にとりたい」が 22%、「別々に食事をとっている」が 10% でした。できるだけ夫婦で食事したい人からは、広いダイニングに憧れるとの声が寄せられています。また、アイランドキッチンにすることで、家事への参加を期待する意見もありました。

Q1. 夫婦一緒に食事をとっていますか？



【アンケート回答例(コメント)】

- お互いの時間があえば、一緒にご飯を作ってくれます。協力的で、私に聞きながらわからない料理も作ってくれるので助かります。キッチンが狭いのもう少し広いと一緒にご飯を作ったり、片付けがもっと有効にできると思う。
- 料理をすることから皿洗いまで協力しあっています。キッチンは鍋のふた置き場が欲しい。
- なるべく洗い物は協力して行うようにしている。もっとダイニングが広いと良いと思います。
- アイランドキッチンが理想です。オープンなスペースだと、家事に参加しやすいと思います。

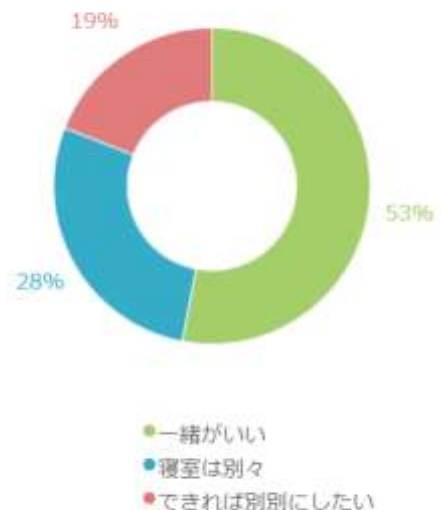
■夫婦の寝室は一緒？ 別々？

結婚を機に同居を始める人もたくさんいます。住居を探すときは、使い勝手の良さはもちろん重要ですが、寝室まで一緒にするか、ということも大きな課題になります。そこで、夫婦の寝室は「共用」か「別々」かを男女 100 人にうかがいました。

●過半数の人からは、夫婦一緒にの寝室を推す声！

アンケートの結果、「一緒がいい」と答えた人が 53% でした。震災など予期せぬできごとが起きたときに対応しやすいという声や、体調の急変に気づきやすいとの意見が男性から多く挙げられました。夫婦の関係を良好に保つためにも一緒にいることは不可欠なのかもしれません。

Q2. 夫婦の寝室は共用派、別々派？



「寝室は別々」と答えた人は 28%。いびきが原因で夫婦間の距離を遠ざけるといった意見が多くありました。ちょうどよく感じる寝室の温度が夫婦で違うために一緒にいられない、とコメントした方もいました。

「できれば別々にしたい」と答えた人は 19%で、女性の割合が高くなりました。ここでも、いびきを理由に挙げる方が多くいましたが、ライフスタイルが違うため別々にしたいが部屋数が足りない、といった方もいました。

【アンケート回答例(コメント)】

- 例えば、お互いに急に体調が悪くなった時など早く気づきやすいと思うので、一緒に寝室で休んでいます。
- ケンカしたときなど仲直りしやすいです。またその日の雰囲気も話さなくても感じとれるので一緒に良いです。
- 主人は暑がり、私は寒がり。いつもエアコンの温度調整が上手くいかないので別々です。
- 今は一緒に寝ていますが、いびきが気になるのでできれば別がいいと思います。
- 就寝時間が合わないので可能ならば別々にしたいです。部屋がないために不可能ですが。

■ パートナーの下着も一緒に洗濯する？

「パパの下着と一緒に洗わないで」と、思春期の娘に言われたという悲哀を聞くことがあります。もしも同様に、妻が夫の下着を分けて洗っているとしたら由々しき事態です。そこで、女性 100 人に、結婚後下着を夫婦別々に洗うかどうかを調査しました。

●最愛の夫の下着を洗うことに、全く抵抗はない！

結婚後、洗濯時にパートナーの下着も一緒に洗うか、との質問に対し、98 人が「一緒に洗う」と回答しました。好きで結婚した以上、下着を一緒に洗うことは妻にとっては当たり前のことと言えそうです。夫婦の愛情以外にも、手間や節水、実家での経験や習慣を理由に挙げています。

一方、「別々に洗う」と回答した 2 人の理由は、“実家での習慣で分けている”と、“生地をいためないように分けている”でした。幸いにも、不潔、触りたくない、臭いというネガティブな意見はありませんでした。

【アンケート回答例(コメント)】

〈「一緒に洗う」と回答〉

- 年を取ってからはわからないけど、結婚後はラブラブだから一緒に問題ない。
- 触ることに抵抗はないし、別々に洗う手間が面倒。一緒に洗うことで節水にもなるから。
- 実家でも父や男兄弟がいて、区別なく洗濯していたので、元々抵抗はありませんでした。

〈「別々に洗う」と回答〉

- 一緒に洗うのが嫌とか、汚いとかそういう理由ではなく、家で、母親が分けて洗っていたので、私も結婚しても分けて洗うと思うから。
- 着ている服の大きさや材質が違うので、服を傷めないように下着以外も別にしている。

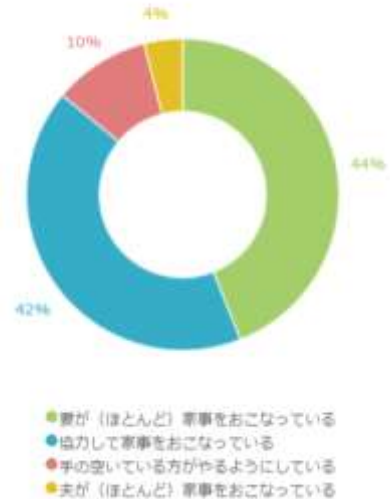
Q3. 結婚後、洗濯時にパートナーの下着も一緒に洗いますか？



■夫婦で協力して家事を行う？

家をリフォームする際に大切なことは、誰にとって一番住みやすい家にするかという事です。日常の家事がしやすいように間取りを考える場合、誰が家事を行っているのかは重要です。そこで、夫婦における家事の分担事情を男女100人に聞きました。

Q4. 夫婦で協力して家事をおこなっていますか？



●これが現状！？ ほとんどの家事は妻が行っている！

一番多かった回答は、「妻が（ほとんど）家事を行っている」（44%）でした。専業主婦の妻と、仕事で、日中は家にいない夫の家庭では、妻が家事を全部するのが当たり前になっているようです。夫が家事をやっても、余計に時間と手間がかかるなど、効率を考えて妻がほとんどの家事を行っているという意見もありました。このようなご家庭では、リフォームをする際には、専業主婦の妻が家事をしやすいように間取りを検討し、家事による妻のストレスを軽減するのも良いのかもしれません。

次に多かったのは、「協力して家事をおこなっている」（42%）でした。それぞれの適性を見極めて家事を分担している夫婦が多くみられた他、分担を決めずに、気が付いた方が家事を行うご家庭もありました。リフォームをする場合は、お互いに意見を出し合ってコミュニケーションを取り、それぞれが納得する住まいを実現してください。

【アンケート回答例(コメント)】

- ・どうしても相手の方が上手ですし旨いので任せてばかりです。たまに手伝ったり、簡単な料理を作ることはあります。
- ・ある程度作業を分担し、時間がある時には互いに手伝っています。料理は妻が行い、風呂掃除は私が行うなどです。
- ・我が家では、暇な人や手の空いている人が自然と家事をやっています。

■調査概要■

- 【調査名】 リフォーム関連各種調査他
- 【調査方法】 インターネット調査
- 【対象】 年齢不問男女(Q1、Q2、Q4)、年齢不問女性(Q3)
- 【実施期間】 2016年5月20日～6月3日(Q2、Q3)、
2016年12月5日～12月19日(Q1、Q4)
- 【サンプル数】 100人

今後も、「リフォーム」に関する気になる情報・アンケート結果を順次公開していきます。

●本件に関するお問い合わせ先

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

アイフルホームホームページ:<http://www.eyefulhome.jp/>

アイフルホーム「失敗しないためのリフォーム情報サイト」ホームページ:

<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>

《参考情報》 夫婦の愛を育むリフォーム

アンケートにあった4項目、「洗濯」「寝室」「食事」「家事」について、夫婦仲をより深められる、当社のリフォーム提案をご紹介します。

◆洗濯効率を上げる工夫

アンケート結果では下着を一緒に洗濯される方が98%で、「手間が省け、節水にもなる」という意見がありました。洗濯の回数を減らすだけでなく、干す際の手間も省くために、当社では「室内物干し」を設置した洗面所を提案しています。

洗濯機のそばに物干しを設置することで、共働きのご家庭の忙しい朝でも、持ち運ぶ手間が省けます。洗濯物を取り出してシワをのばす係と、ハンガーに通して物干し竿にかける係に分かれて手早く済ませましょう。



◆寝室を夫婦でくつろぎの空間に

アンケート結果では、一緒に寝る夫婦が7割いることが分かりました。そんな夫婦一緒の時間をより過ごしやすいとする提案が、寝室を「夫婦のセカンドリビング」にすることです。

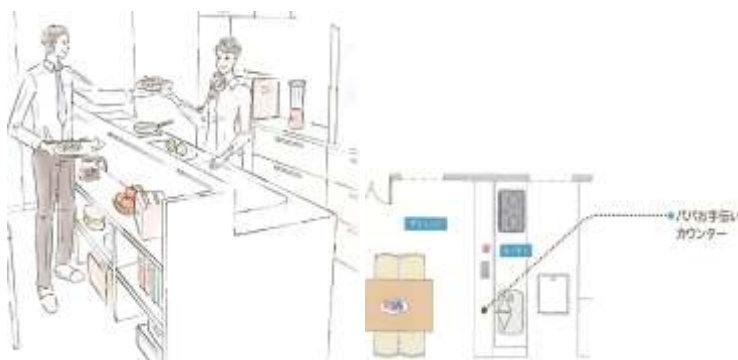
寝室という二人だけの空間で、読書や映画、音楽鑑賞など、夫婦二人で趣味の時間を過ごす、くつろぎの空間として活用できます。



◆協力し合えるキッチンに

食事を一緒に取っていると回答した夫婦の意見をみると、旦那様が積極的に料理の配膳、片付けなどを手伝っている家庭が多いようです。

「パパお手伝いカウンター」はキッチンの中と外の連携をスムーズにします。配膳や片付け以外にも、カウンターでコーヒーを淹れたりトーストを焼いたりできるので、気軽に手伝えます。



◆便利収納で笑顔に

半数近くのご家庭で、家事を奥様がされているという結果でしたが、平日は忙しい旦那様も、休日には一緒に買い物にでかけましょう。休日に買い溜めしたものを簡単に整理するための提案が「どっちからもパントリー」です。キッチン側からはもちろん、反対側からも出し入れできる棚なので、新しく買ったものを外側から仕舞えば、キッチン側から取り出すときは、自然と、以前に買ったものから手に取れます。普段キッチンに立ち入らない旦那様でも手軽に仕舞える提案です。

